

みどりの風

川柳
聴診器 心の声も 聴けるといいな（看護師 大高）
No.49 発行・編集責任（緑風会会長 大矢正明）

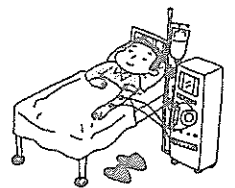
生命予後のために、透析生活ではスタッフ任せでなく

自己管理が大切です その1



透析が効果的に行われているかを自分で確認する血液検査結果

透析が順調に行われていないと尿毒症の症状が現れたり、様々な合併症が起こる可能性があります。月に2回血液検査後に病院から配布される「検査結果だより」でチェックする習慣を身に付けましょう。



□ アルブミン(ALB) 基準値:3.5~5.0 g/dl

栄養状態の指標になります。高値は脱水による血液濃縮
低値はタンパク質接種不足。透析時間の不足が考えられる。
低値では、透析中の血圧低下が起こりやすくなる。

□ 尿素窒素(BUN) 基準値:70~90mg/dl（透析前）

主に食事から接種したタンパク質が分解されたものです。
低値はタンパク質接種不足、高値は透析時間不足が考えられます。

□ Kt/V(ケイティーオーバーブィ、透析効率) 基準値: 1.2以上

透析によって、尿素がどの程度除去できたかの指標です。
数値が大きいほどしっかり透析できていると判断できます。

（引用「太田メディカルクリニック発行「検査値の読み方」より」



昭和46年当時の透析事情

透析費用1ヶ月20万円~40万円が捻出できなかった家庭では、

- ・亡くなるしか方法なし
 - ・捻出するために家を売り引っ越し
 - ・離婚した夫婦
 - ・ある少年は家に迷惑をかけたくないと蒸発
- 等々悲しい実態が相次ぎ
社会問題になる

こうした惨状を受け、全国各地で患者会が誕生。岐阜県では昭和46年「岐阜県腎臓病患者連絡協議会」全国組織として「全国腎臓病患者連絡協議会」が結成され以下のような要求項目をかけた運動を展開した。

1. 透析費用を全額国庫負担に
2. 透析患者を身体障害者1,2級に認定を
3. 県内に腎センターを増設すること
4. 小中学校生徒の検尿制度を確立すること

その結果、1.は1973年に、2.3は1972年に、4.は1974年に

粘り強い署名運動、デモ、座り込み等を毎年行った結果実現し、現在のような安心していつでも、だれでも、どこでも透析治療ができるようになりました。